

【木村副市長】

本日、北海道防衛局の現地連絡本部から、「今回の千歳基地における共同訓練は終了した」との連絡がありましたことから、これを持ちまして「三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」及び「日米共同統合演習」が終了いたしましたので、ご報告いたします。

なお、千歳基地に残っている戦闘機や米軍関係者が帰還するまでの間、引き続き、万全の体制を維持してまいります。

今回の訓練移転は、米軍機が飛来した翌日の10月22日から11月1日までの土日を除く、9日間実施され、「訓練に関する事件・事故はなかった」との連絡を受けております。

このたびの訓練にあたりましては、協定の遵守をはじめ、早期の訓練計画の公表や連絡協議会開催のほか、現地連絡本部の設置など、これまでの国との協議経過を踏まえ、着実に実行されたものと受け止めております。

市といたしましては、今後、訓練の公表から終了までの間における市民周知や連絡体制、騒音測定などの対応について検証し、次回以降の訓練に活かしてまいりたいと考えております。

今回の訓練に当たり、市民の皆様のご理解や関係団体、報道機関の皆様のご協力に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。